

高槻市市民公益活動 サポートセンターニュース

NO. 4

e-mail:koueki-suport1504@aurora.ocn.ne.jp

http://www.takatsuki kouekisuport.com/

発行 2006年(平成18)1月25日
 高槻市市民公益活動サポートセンター
 〒569-0056 高槻市城南町3-1-1
 西大冠小学校内
 電話 072-674-3400
 Fax 072-674-3401

たかつきフェスタ・2006 市民公益活動のアピールの場に

「高槻市」と「たかつき市民活動ネットワーク」が中心になり、サポートセンターも協力して2003・2004年の2回、市と協働で市民活動「フォーラム」が開催されてきました。今年は発展させる意味で、新たに「市民公益活動 たかつきフェスタ・2006」を開催されます。

市内に点在する市民公益活動団体が集まり、顔の見える関係を作りながら、市民へのアピールを目的にしています。

サポートセンターもフェスタ成功のため、協力していきます。実行委員会では実施に向けての取り組みがすすめられています。

サポートセンター登録団体からの参加もたくさんあります。当日、みなさまのご参加をお待ちしています。

市民公益活動

たかつきフェスタ・2006

～出会おう*つながろう*楽しもう～

日時 3月4日(土) 9:45~17:00
 会場 生涯学習センター展示ホール
 主催 高槻市・たかつき市民活動ネットワーク
 協賛 (社福)高槻市社会福祉協議会
 協力 高槻市市民公益活動サポートセンター
 管理運営委員会

各ブース

(NPO参画市場)

参加団体が工夫を凝らした展示をします。

メインステージ

パネルディスカッションのほか、歌・腹話術・クイズなどをまじえ、参画団体の活動紹介をします

チャリティー

オークション

売り上げはユニセフへ寄付します

活動団体の関連書籍の

販売もします

ちょっと一服

休憩コーナーではコーヒーや紅茶でほっこりと・・・

その他いろいろ

企画中。
お楽しみに

子どもの広場

「子どもの文化」ネットワークが中心になり、絵本の読みがたりやパネルシアターなど、子どもたちが楽しめる企画を検討中。

おもちゃ作りや

木工教室もあります

目

たかつきフェスタ2006・・・1ページ
 サポートセンター講座報告・・・2ページ

次

特集「高齢者の食と健康」・・・3ページ
 インフォメーションほか・・・4ページ

サポートセンター講座報告

会計の基本的な考え方・実務について 勉強中

「会計講座」を開催中



現役時代、経理業務を担当していた方々(サポートセンター登録団体「パルケ高槻」のメンバー)を講師

にして、NPO団体・ボランティア団体を対象に、開催している講座です。事業・活動を、資金面から把握できるように会計処理を学んでいます。現在4回が終了していますが、残りの1回のみを受講も可能ですので、ご希望があればご参加ください。

- 第1回 基礎知識、一般的な簿記・会計
- 第2回 決算、複式簿記の原則
- 第3回 事業計画の策定
- 第4回 税務申告及び節税対策

今後の予定(開催時間は3時から5時です)

- 第5回(1/30) 資金計画の立て方

お問い合わせは サポートセンター事務所まで

ホームページ作成講座を 開催予定

登録団体から「ホームページを開設したいのでサポートセンターで講座を開催して」との希望が寄せられています。今回、自分たちの手でホームページづくり・その管理ができるようにと、講座を予定をしています。詳しくは今後のサポートセンターホームページか、個別にご案内しますので、ふるってご参加ください。

明日から私も編集長？

「編集講座」好評のうちに終了

サポートセンターでは、機関紙・広報紙の編集講座を11月に4回、サポートセンター会議室にて開催。延べ45名が受講しました。講師は機関紙広報研究センターの河野文雄先生。ユーモアや時節の問題を取り入れ、楽しいうちにも大切なポイントをおさえた講座になりました。

第1回 新聞について学ぶ。

5W1Hの原則に沿った記事にする。

第2回 編集の原則。終わったことの記録は少なく今後の記事を多く載せる。

第3回 取材は足し算、編集は引き算。たっぴりと取材し、記事はその中から、必要な事柄を選び出す。

第4回 読ませる紙面は見出しとレイアウトで決まる。

記事内容は結論から書く



受講者の感想

- ・新聞記事は一定の約束事により作られていることがわかった。
- ・日本の文章は縦書きに適している。新聞も本も縦書きなのも納得。
- ・機関紙としての一貫した方針を決め編集することが大切であることが理解できた。
- ・年に一度ぐらいの講座企画を希望する。

第5期「高槻まちづくり塾」開催されました(11/5日・19日・20日)

市とサポートセンターの主催で開催されてきた「高槻まちづくり塾」の第5期目が終わりました。今回は2007年に定年を迎える団塊世代といわれる人たちをターゲットに、キャリアを生かしながら、今後どう社会参加してもらうかというスタンスで開催しました。しかし、まだ現役であるということからか、団塊世代の参加者は少なく、すでにリタイアしている方が多かったようです。

受講者からは、今後受講成果を活かせる活動団体を立ち上げるとの声が上がっています。

シリーズ:市民公益活動の現場から・第1回「配食サービス」

サポートセンターの登録団体は現在 75 団体です。ジャンルも子どもから高齢者・環境までさまざまです。これから不定期ではありますが、ジャンル別に登録団体の活動と現状について順次お知らせしていきたいと思えます。

シリーズ第1回は、中でも一番多い「高齢者福祉」の事業所の中から、「配食サービス」の事業所を取り上げました。現在サポートセンターに登録している「高齢者の食」に関わっている団体は、配食サービス分野が3・デイサービス分野が5団体、その他にも街かどデイハウスでも食事サービスをしています。

利用者の中には、加齢に伴う病気や障害に合わ

せて、献立を工夫し変えていく必要がでてきます。例えば、自己判断で脂肪分を警戒しすぎると血液中のアルブミン(たんぱく質の一種)の不足による低栄養状態をまねきます。反対に、油分の取りすぎや偏食など、バランスを欠いた栄養状態も懸念されます。これら高齢者の食のさまざまな問題に、配食サービスの現場はどう対応しているのかを取材しました。

その人のニーズに合った食事を届けたい

NPO 法人

「いきいき会」

(土室町 696-1425)

今年で設立 16 年目を迎えました。「高槻の高齢社会をよくする会」と共同で現在の地に「つどいの家」を建設。その一階が「いきいき会」です。高槻の北部をエリアに、市の配食サービスを受けている方と対象外の利用会員の両方に週5日夕食を、月計 4000 食あまり配達しています。事業の基本は高齢者の食。ボランティアの栄養士も交えて、献立には気を配っています。「いいお弁当を作る」ことを一番大切にしています。できるだけ安全な食材をと、2 生協と地元の農家と契約し、旬のものを取り入れて工夫しています。「おかゆ」や「刻み食」など個々のニーズに合わせた対応もしていますが、「病人食」など財政面・物理面でまだまだ難しい課題を残しています。

NPO 法人

つながりネットワーク

「なかま」

(高西町 661-6208)

開始当初、生協主催のホームヘルパー講座の修了生が中心になって、高齢者や社会に適応しにくい方々の自立支援を目的として、配食サービスを始めました。

配食数としては固定客が少なく、やむなく高槻全域を対象にしているため、効率がよくないのですが、一食からでも配達しています。

市からの配食サービスの委託を受けられず経営が苦しい中、デイサービス事業所の賄い部門を引き受けたり、周辺の企業の昼食の個別注文を受けたりと、工夫しながら事業を続けています。

生協の食材などを使用。「手づくり・安心・安全」をモットーに、ベテランスタッフを中心に、経験と努力でがんばっています。

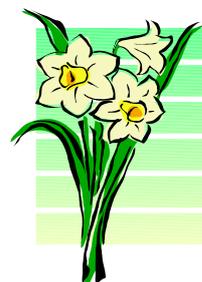
NPO 法人高齢者福祉協会

「ひだまり」

(八丁西町 683-1380)

調理現場は道鶴町にあり、7名のスタッフが働いています。「得公屋」という弁当屋と、業務提携をしている点が、他の事業所と大きく違います。

市の配食サービスの委託を受けていて、配食サービス対象者がおよそ 200 人、それ以外の利用会員が 100 人で、常時一日約 160 食を配達しています。エリアは高槻・島本全域で、昼食と夕食を配達しています。食材はスーパーなどで調達していますが、利用者のニーズや期待に応えられるよう工夫しています。



登録団体 活動の広場



ボランティアグループ^{きりん}槻輪
(愛称：V G槻輪)

“ 仲間の輪 広げて作ろう 槻輪の和 ”

V G槻輪は“ まちづくり ”を目的として結成したグループです。

毎月定例に“ わがまち紹介 ”をはじめ、たかつき春・秋の市(フリーマーケット)にも出店。

また、毎月多彩な内容で活動内容をホームページで公開すると共に、色彩豊かな会報を発行しています。(HP “ 槻輪 ” を検索下さい)

活動内容は、

1. 自然を保護し環境にやさしい“ エコ・シティづくり ”
2. シニアの知識・技術を生かし社会に貢献
3. 健康で文化的なまちづくり
4. 安心して暮らせる福祉のまちづくり

V G槻輪は、「何をする会ですか」ではなく、「何をしたいですか」で、そのしたいことをみんなで考え実行していく会です。

連絡先：大岡成一

電話：072-695-2563

総合学習支援グループ

私たちは西大冠小学校の総合学習を支援しているグループです。

現在、子どもが中心になって、中庭にビオトープを造っていますが、この活動を支援しています。例えば、池の水を浄化する活動の結果、池には「トンボ・メダカ・川えび」などが住みつきました。そして、池の浄化に使った「EM菌」でトイレの臭い消しの活動もしており、その効果を記録し、今年は活動発表も行う予定です。

また、キャベツ畑では蝶が卵を産み、青虫・さなぎ・羽化などが観察できました。

子どもたちが造った「かぶとの家」には校庭の落ち葉などをいれ100匹程度が冬越冬をしており成虫になるのを楽しみにしています。

秋には「こおろぎの家」もみんなで作りました。



かぶと虫を育てる子どもたち

今後も、子どもたちに元気ももらいながら、これらの活動支援をしていきたいと考えています

NPO 協働活性化モデル事業(総務省委嘱事業)に5事業が採択される

上記モデル事業は、市民団体が地域の課題解決にむけて自主的にとりくむ事業を、市が採択し、協働で実施していく取り組みです。今回は「子育て・教育」、「安全・安心」、「充実した都市機能」、「住民サービス向上」をテーマに事業を募集し、応募11事業の中から、5事業が選ばれました。(サポートセンター登録団体からは3団体、下記表の1~3)

団体名	事業内容
1. 高槻里山ネットワーク	櫻や卯の花を市民の手で植樹。 3/18(土)けやきの森など
2. NPO 法人三島子ども文化ステーション	小中学生と共に育つ高校生・青年のリーダーシップ講座と実践。 2/12(日)~3/18(土)に順次開催
3. 海外協力グループ “クスクス”	フォーラム「在住外国人の自国文化紹介交流」 2/12(日)
4. 高槻市地域活動栄養士会	生活習慣病予防レシピの作成と活用
5. 檜田地区連合自治会(不法投棄防止ボランティア)	檜田地区環境保全(不法投棄をなくす活動)

編集後記:今回から季刊で発行することになりました。「活動の広場」への投稿など、みなさまのご意見・ご希望をお待ちしています。ホームページも合わせてご利用ください。